

令和 7 年 1 0 月 吉 日

何が起るかわからない

9 月 5 日台風が近づき、大雨が予想された。線状降水帯が発生すると言われ水への対応を考えていた最中、私の住む牧之原市は竜巻におそわれました。

一瞬の内に 1 0 0 0 棟を超す建物が竜巻被害に合い、重軽傷者が 5 0 人をこす惨事となりました。

全く「何が起るかわからない」。

被災地を被害状況の調査をするボランティア活動があり、それに何日か参加してみました。

いくつか気の付いたことがありました。一つは、多くの人がスマホで写真をとって置いて証拠を残していたこと。被災に対して対応が早いか遅いかで被害の大きさが違うということです。

対応の早い人は 9 月 5 日当日、雨が止むと同時にブルーシートを購入し、屋根や被災した場所にかけて建物や家の中の二次災害を防いだりしてしまったり、建築業者に電話をし、翌日には業者に来てもらったりした人、建物が住めなくなると分かってすぐ近くのホテルを予約した人など起きたことへの対応で違いが出てきていたことです。

そしてこの対応の差は、その後の生き方を変えていくかもしれません。

あらためて防災対応をしっかりとしておくことと備える意識は日々の生活の中に活かしていくことが大事だと思いました。

被災された方にお見舞い申し上げます。